



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
 コード番号 3766 URL <http://www.sdcj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 隈元 裕
 (氏名) 岡本 芳明
 TEL 03-5300-7800

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,846	5.7	99		96		72	
2019年3月期第1四半期	1,957	14.4	13		19		9	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 74百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 18百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	20.72	
2019年3月期第1四半期	2.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	5,534	3,793	68.5	1,085.04
2019年3月期	5,910	3,913	66.2	1,119.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,793百万円 2019年3月期 3,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		13.00	13.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,293	2.3	227	470.1	232	354.6	121	15.7	34.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	3,940,000 株	2019年3月期	3,940,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	443,485 株	2019年3月期	443,485 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,496,515 株	2019年3月期1Q	3,496,639 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、金融緩和や各種経済政策を背景として、緩やかながら景気回復基調で推移しました。一方、海外では米国の景気は堅調に推移しているものの、中国では米中貿易摩擦により景気に減速がみられるなど、米国の経済政策動向に対する懸念や地政学リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、人手不足の解消に向けた働き方改革など生産性向上への取り組みやセキュリティ対策への意識の高まりなどから投資が続いており、企業のIT投資は堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループでは継続案件や新規案件の受注確保、人材育成及び採用活動への投資などに注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,846,380千円(前年同期比5.7%減)、営業損失は△99,792千円(前年同期は13,271千円の営業利益)、経常損失は△96,822千円(前年同期は19,717千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は△72,432千円(前年同期は△9,268千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① システム開発事業

システム開発事業につきましては、2019年2月に子会社が連結範囲から外れたことによる影響がありました。また、長期の受託開発案件の当初計画からの遅延による影響から案件の受注が伸び悩みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は925,171千円(前年同期比16.8%減)、営業損失は△77,814千円(前年同期は2,818千円の営業利益)となりました。

② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、2018年7月に実施したM&A案件による業績への寄与がありました。一方で、一部子会社の業績が低調な推移となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は921,209千円(前年同期比8.9%増)、営業損失は△21,978千円(前年同期は10,452千円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により前期末比375,899千円減の5,534,562千円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前期末比120,087千円減の3,793,869千円となり、自己資本比率は68.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543,570	2,584,242
受取手形及び売掛金	1,547,362	914,819
商品及び製品	28,964	26,134
仕掛品	126,005	331,608
原材料及び貯蔵品	16,654	15,025
その他	82,290	91,920
貸倒引当金	△1,140	△732
流動資産合計	4,343,708	3,963,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	425,656	425,656
減価償却累計額	△282,523	△285,036
建物及び構築物(純額)	143,133	140,620
土地	107,273	107,273
リース資産	17,030	17,030
減価償却累計額	△12,766	△13,127
リース資産(純額)	4,264	3,903
建設仮勘定	—	1,004
その他	270,306	270,306
減価償却累計額	△228,940	△230,881
その他(純額)	41,366	39,425
有形固定資産合計	296,038	292,227
無形固定資産		
のれん	557,172	535,759
ソフトウェア	3,361	2,995
その他	7,644	7,644
無形固定資産合計	568,179	546,399
投資その他の資産		
投資有価証券	77,962	75,679
長期貸付金	1,336	1,283
繰延税金資産	325,530	358,385
その他	297,706	297,570
投資その他の資産合計	702,536	732,917
固定資産合計	1,566,753	1,571,544
資産合計	5,910,462	5,534,562

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,682	28,235
1年内返済予定の長期借入金	25,011	—
リース債務	3,330	3,330
未払金	617,319	549,915
未払法人税等	93,723	18,927
賞与引当金	164,190	52,768
受注損失引当金	203,304	209,474
受託契約関連損失引当金	58,177	34,135
役員退職慰労引当金	15,490	—
その他	248,339	328,050
流動負債合計	1,472,567	1,224,838
固定負債		
リース債務	6,917	6,085
繰延税金負債	7,154	4,231
役員退職慰労引当金	40,480	41,640
退職給付に係る負債	459,972	454,274
資産除去債務	2,953	2,953
その他	6,460	6,670
固定負債合計	523,938	515,854
負債合計	1,996,505	1,740,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,457,056	3,339,169
自己株式	△198,105	△198,105
株主資本合計	3,886,039	3,768,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,118	11,427
退職給付に係る調整累計額	14,798	14,288
その他の包括利益累計額合計	27,916	25,716
純資産合計	3,913,956	3,793,869
負債純資産合計	5,910,462	5,534,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,957,473	1,846,380
売上原価	1,576,775	1,588,107
売上総利益	380,698	258,273
販売費及び一般管理費	367,427	358,065
営業利益又は営業損失(△)	13,271	△99,792
営業外収益		
受取利息	25	3
受取配当金	402	418
助成金収入	5,851	800
その他	344	1,762
営業外収益合計	6,624	2,984
営業外費用		
支払利息	177	14
営業外費用合計	177	14
経常利益又は経常損失(△)	19,717	△96,822
特別損失		
固定資産除却損	562	—
減損損失	303	—
特別損失合計	866	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	18,850	△96,822
法人税等	28,119	△24,389
四半期純損失(△)	△9,268	△72,432
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,268	△72,432

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△9,268	△72,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,747	△1,690
退職給付に係る調整額	△182	△509
その他の包括利益合計	△8,930	△2,200
四半期包括利益	△18,198	△74,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,198	△74,632
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	1,111,432	846,041	1,957,473	—	1,957,473
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,111,432	846,041	1,957,473	—	1,957,473
セグメント利益	2,818	10,452	13,271	—	13,271

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	システム開発	アウト ソーシング	全社	合計
減損損失	—	303	—	303

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	925,171	921,209	1,846,380	—	1,846,380
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	925,171	921,209	1,846,380	—	1,846,380
セグメント損失 (△)	△77,814	△21,978	△99,792	—	△99,792

(注) セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。